

戸田建設株式会社が発行する 「サステナビリティ・リンク・ボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、戸田建設株式会社（以下「本法人」）が発行する第9回サステナビリティ・リンク・ボンド・無担保社債（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2022年6月2日）。

「サステナビリティ・リンク・ボンド」とは、あらかじめ定められたサステナビリティ/ESGの目標（SPTs）を達成するかどうかによって条件が変化する債券のことで、調達資金が必ずしも特定の資金使途に限定されません。

本法人は、本債券の発行にあたって、「サステナビリティ・リンク・ボンド・フレームワーク」を策定し、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、第三者評価としての「サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2020（ICMA）」に適合している旨のセカンドオピニオンを取得しております。

また、本法人は、SPTsを①パリ協定にて定める建設作業所やオフィスの使用によるGHG（温室効果ガス）排出総量の削減率を2030年度末までに2020年度比42%削減、②①以外の間接排出によるGHG排出総量の削減率を2030年度末までに2020年度比25%削減、の2つを選定し、①が未達の場合、社債発行額の0.10%のグリーン電力証書を購入、②が未達の場合、社債発行額の0.05%を環境貢献団体へ寄付を行うこととしています。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上